

ワンキー・マウス ナースコール機能説明書 [長押しタイプ]

Rev.609

- ◆ ナースコール付きワンキー・マウスのナースコール機能について説明します。
- ◆ マウス機能については操作ガイドおよび CD-ROM 内の取扱説明をご覧ください。



◆ 各部の名称と機能

● 前面



コールランプ

ナースコール時点灯します

赤:ナースコールオン/緑:ナースコール待機

スイッチジャック

操作スイッチを接続します

マウス操作とナースコール兼用です

● 背面



USB コネクタ

USBコードを差し込み

パソコンの USB ポートに接続します

コール出力

ナースコールに

接続します

● 付属品

● USBコード



パソコンのUSBポートに接続します

● ミニプラグ付きコード



「コール」ジャックとナースコール、呼び出しブザーなどとの間をつなぎます。

◆ ナースコール

- スイッチを一定時間(出荷設定約4.7秒)押したままにするとナースコール出力がオンになります。
- ナースコール出力がオンの間ランプが赤く点灯します。
- ナースコール出力がオンになってすぐスイッチを離しても最低1秒間はオンが続きます。
- スイッチを押している間ナースコール出力はオンのままですが、約5秒経過するとスイッチが押されていても出力はオフになります。
- ナースコール出力がオフになると、ランプが緑に変わります。
- ランプが緑の状態ですwitchを押すと、すぐにナースコール出力が再びオンになります。
- ランプが緑の状態はナースコール出力オフの後約2.5秒間続きます。
- ナースコール出力オフ後約2.5秒たつとランプが消灯し通常のマウス操作状態に戻ります。

◆ 使用上の注意

- ナースコール出力はリレー接点(無電圧)で無極性です。
リレー接点の定格はDC30V1Aです。接続には3.5mmミニプラグの付いたコードをお使い下さい。
- スイッチ長押しによるナースコールは、パソコンの電源がオンの状態で有効になります。パソコンの電源がオフのときは、スイッチ操作がそのままナースコールへ伝わります。(スイッチを押すとすぐナースコール)
- スイッチがナースコールへ直接つながる場合があるためナースコールの電圧/電流に対応したスイッチを使用し、絶縁に注意してください。金属部に人体が直接触れるようなスイッチは使用しないでください。
- パソコンの電源がオフのときもナースコールを長押しで行いたい場合は、セルフパワー方式(ACアダプタ付き)のUSBハブをパソコンに接続し、そのUSBハブにワンキー・マウスを接続することで実現できます。

◆ スイッチを押す時間の設定

- スイッチを押したままにしてナースコール出力がオンになるまでの時間は、設定ソフトの「長/短切り分け時間」で設定した時間の何倍にするかを「左ボタンロック」の項目で選択します。
- 倍数は「左ボタンロック」の設定値が「1:なし」の時25倍、「2:長」15倍、「3:中」9倍(出荷設定)、「4:短」6倍です。
- 設定ソフトの「長/短切り分け時間」の設定値が4(出荷時)の場合「左ボタンロック」の設定値に対応する時間は、「1:なし」13秒、「2:長」7.8秒、「3:中」4.7秒(出荷設定)、「4:短」3.1秒です。
- 「長/短切り分け時間」と「左ボタンロック」の設定値ごとの設定時間は以下の通りです。[秒]

長/短切り分け時間		左ボタンロック				
		設定値	1	2	3	4
設定値	時間[秒]	倍数	25	15	9	6
1	1.74	43.5	26.1	15.7	10.4	
2	1.16	29.0	17.4	10.4	7.0	
3	0.78	19.5	11.7	7.0	4.7	
4	0.52	13.0	7.8	4.7	3.1	
5	0.34	8.5	5.1	3.1	2.0	
6	0.22	5.5	3.3	2.0	1.3	
7	0.16	4.0	2.4	1.4	1.0	
8	0.12	3.0	1.8	1.1	0.7	

- ケータイ打ち(左ボタン連続操作)機能を「あり」に設定すると、上の表より2.34秒時間が長くなります。(出荷時設定は「なし」)
- ケータイ打ち機能を「あり」に設定すると、コールがオンになる前にいちど左クリック動作が行われます。
- ケータイ打ち機能を利用したいときは、スイッチを押し始めて2.34秒経ったらいちどスイッチを放してください。